

26 世代間交流で安心・安全まちづくり

【き】 町内の各種団体がネットワークを結成

一人暮らしの高齢者のお世話や子育てなど、地域の各世代が抱える問題をみんなの問題として共有し、解決することによって「住みよいまちづくり」は実現すると思います。

それをめざし、自治会をはじめとする町内の各種団体や民生委員など地域の役員からなる「地域ネットづくり委員会」を平成16年に設立しました。

【概】 町内の住民が知り合うための事業と 防火・防災事業の組み合わせ

今年は「防火・防災、安心のまちづくり」をテーマに活動に取り組みました。

地域住民が知り合うための事業として、「グラウンドゴルフ・ペタンク大会」「囲碁・将棋・オセロ大会」「昔あそびと草笛」「カラオケ・盆踊り」「野外映画」等を実施しました。

また、防火・防災事業として、「防災フォーラム」「バケツリレーと放水訓練」「防災標語の募集と掲載」「防災マップ作成」などに取り組みました。

【成】 町民の交流の大切さを再確認

防災フォーラムの講師から「防災訓練も大切だが、要は、みんなの心が通じ合っていること」だと聞き、町民の交流の大切さを再確認しました。その意味でも、防災訓練に織り交ぜて実施した高齢者と子どもたちが交流する各種イベントに笑顔が溢れ、「楽しかった」の感想を頂けたことは大きな成果でした。

【夢】 「住みよく元気なまちづくり」をめざしたい

来年度は「美しいまちづくり」に取り組む予定です。「花と緑のまちづくり」「メダカやドジョウ、蛍の生息する川づくり」など、美しい環境づくりを通じて町民の交流をはかり、「住みよく元気なまちづくり」を進めていきたいと考えています。

また、中学生や高校生など、若者世代を積極的に活動に巻き込んでいけたらと考えています。



町民が一体となったバケツリレー

地域ネットづくり委員会

代表者氏名：林田平八郎
活動地域：姫路市西今宿6丁目
事務所等：姫路市西今宿6丁目5-13
電話番号：0792-98-4345

とも
に
取
り
組
む
団
体
等

地域ネットづくり委員会の構成員は、以下のとおりです。

自治会、子ども会、中学部会、婦人会、老人クラブ、生活体育、各種役員（民生委員、防犯委員、消防団員、公衆衛生員、宮役員）

活用した支援

活地域づくり活動応援事業（兵庫県）



話し合いはざっくばらんな雰囲気です

一般的に、自治会など、順番や選挙で組織された団体では、アイデアを出すと発案者がそれを行うことになり、発言が消極的になる傾向があります。

みんなから積極的に新しいアイデアを出してもらうには、みんなで力を合わせて取り組むという雰囲気作りが大事です。

そのためには、公の会議や行事のほかに、茶話会や飲み会など、ざっくばらんに話し合える場をたくさん設けることが大切です。その中で、面白いアイデアが出てきたり、それをみんなでやろうという気運の醸成などができます。



負担の多いことは率先して引き受ける

自治会、子ども会、老人クラブ、婦人会など、それぞれ町をよくしたいという思いはありましたが、リーダーシップを誰が担うかが問題でした。自治会役員がそれを引き受ける姿勢を見せたことで、各団体の負担が重すぎるという不安が解消し、活動をスムーズに前進させることができました。

求ム!

来年度取り組み予定の「美しいまちづくり」において、「花づくり」や「自然の川づくり」などの講師の方のお力添えがいただければ幸いです。



世代間交流の将棋・囲碁・オセロ大会

読者の皆さんへのメッセージ

NHKの「難問解決! ご近所の底力」をヒントに、防火訓練として「バケツリレー」を初めて実施しましたが、なかなか難しいことに気がきました。いざというときに役立つ「防火・防災訓練」は相当に練りこむことが必要ですね。よきアドバイスをお願いします。